

# いまから始めよう 性教育



編集発行 羽津北小学校  
PTA広報部  
印刷 阿竹印刷工業㈱

第 44 号  
平成3年12月5日発行

## 大人の性の意識と 子供の性教育について

養護教諭 小谷 誠子

性教育の必要性が叫ばれて久しくなります。今、現実の問題として、ただ性教育を行えばよいというところから、その質が問われ始めています。

多くの方の性教育のイメージはと言つと、小学校、五、六年生の時、女の子だけ集められ、よく意味のわからないスライドを見せら

れて終わり…。このような初潮指導で非常に、陰なイメージではなかったでしょうか。その時、男の子は、外で遊んでいる。または作業させられている。こういう様子では、ありませんでしたか？。

性教育と言つと、恥ずかしいという感情がどうしても先行すると思います。これは、日本文化の中

に「性」についての扱いが、陰に押し込められて、外に出してはいけないものとされて来ました。そのことによつて、正しい知識を得ることなく過剰していくということになっていきます。

では、正しい知識を教えることだけが性教育なのかということになって来ますが、それだけでは無いと思つていきます。このことを通して、「よりよい人間関係を作り、相手を思いやる心を育てる教育」だと、私は考えています。

相手を思いやる心を持つということは、男性は女性の、女性は男性のからだのこと、メカニズム、心理を、よく知らなければ、相手を思いやる心は育つてはいかないでしょう。

また、現在の情報化社会の中で性に関する情報はあふれています。その情報を選択する力をつけることも性教育の大きなポイントだと考えます。

性教育の必要性を上げるときりが無いのですが、今、本当に性教育の必要なのは、私達、大人ではないかと思うところです。



## 診断テスト

あなたの「性教育度」をチェックします。次の問いに答えてみて下さい。

- 1、子供の手紙を開封したことがあるか。
  - 2、話してもわからない時は、体罰もやむを得ないか。
  - 3、失敗をした子供の言い分を聞いてやるか。
  - 4、子供に自分の考えを持たせるよう心がけているか。
  - 5、大人の会話に口をはさむ子供をうるさく感じて叱りますか。
  - 6、どんな校則でも、はみ出した子に注意するか。
  - 7、男らしさ女らしさと言つ方か。
  - 8、中・高校生の男女交際を認めるか。
  - 9、目立つ服装をした子に、すべ問題を感じるか。
- ※裏面に理想的な回答があります。

## 本を紹介

さらば悲しみの性 河野美代子 高文研  
 素敵に「コミュニケーション」 村瀬幸浩 大目書店  
 こころからだいのちのえほんシリーズ 北沢杏子 岩崎書店  
 あかちゃんはどこからくるの S.M.P.エンジェル あすなる書房  
 たまごからうまれたあかちゃん 長谷川一光 偕成社  
 なぜなのママ 北沢杏子 アニー出版  
 なぜなのパパ 北沢杏子 アニー出版



9月27日、親と教師の語る会で話をして下さいました。



### 低学年の懇談より(抜粋)

▼子どもが聞いてきたら話そうと用意しているのに、全然聞いてこないで残念です。

▼「お田さん、赤ちゃんは何でここから産まれてきたの」と聞かれました。うわつと思つたので、「おなかから産まれたのよ。」「でも、跡がないよ。」「ほんと、きえてつたんやわ」と話しました。反省。

▼男の子。お風呂から出て、生殖器をいじることがよくあります。

ボフ、どこから生まれたの？  
小谷先生の講演の後を引き継いで、低中高学年の話し合いを分散会形式で行いました。子どもの性教育についてそれぞれの家庭での奮戦ぶりがよく伝わってきました。広い視聴覚室では、まじめな中にも笑いももれて、たいへんなこやかなムードに包まれていました。

▼子どもも真剣に聞いてくるのだから、かかさずに全部教えるべきである。以前までの教育にはある部分では、タブーとされるところもあった。しかし子ども達のまわりには、いたずらに興味をあるような性に関する情報があふれている。このままでは、正しい性知識を身(こ)とは

それを、禁止するとよくないそうです。(その声)  
▼バツタがバツタの上のついているところに出あつた子どもが「何してるの。」「結婚しているのよ。」「と私。これでよかつたかな。」「それに。スバリ教えた方がいいように思います。子どもらは案外、ケロリとしています。▼賛成です。聞かれたら、正しいことを、教えてあげたらと思います。▼つさが交尾しているのを見て、子どもたちは、「いじめやんつきな。」「etc」と言つて引きはなしてしまいました。こんなときに、子どもたちがわかることばで、(例えば結婚しようとしているのよ)話してあげられたらと思いました。

▼男の子と女の子といつしよに性教育のビデオを見せてほしいと思ひます。(今は見せていません。来年度から、身体の変化は理科で教えます)

### 中学年の懇談より(抜粋)

▼フアンタジックで科学的な(性に関する)読み物を与えていくことは「性」を正しく認識するのに、とても意義があると思ひます。

▼小谷先生の話にもあつたけど、小さい時から芸術的なものにもふれさせていくことが大切だと思つています。

▼「お田さん、赤ちゃんって、どこから産まれてくるの」という問いに対して、テシを捨てて、きちんと話す方がよいと思ひます。

▼「性」の話をできる親子は、「いい関係」をもっていると考えられています。

▼「性」の話をできる親子は、「いい関係」をもっていると考えられています。



できない。幼い時からフアンタジックでまた科学的な正しい性知識を教えていきたい。

▼幼い時からその子に合った流れで教えていくことは必要である。そのためには、家庭の話題の中で自然に取り上げていけばよいのではないか。

▼フアンタジックで科学的な(性に関する)読み物を与えていくことは「性」を正しく認識するのに、とても意義があると思ひます。

▼小谷先生の話にもあつたけど、小さい時から芸術的なものにもふれさせていくことが大切だと思つています。

▼「お田さん、赤ちゃんって、どこから産まれてくるの」という問いに対して、テシを捨てて、きちんと話す方がよいと思ひます。

思ひます。

▼聞かれたことに対して、話をすると、不思議そうにしながらも納得して聞いているようです。案外、親の方が、意識しすぎているのでしょうか。

▼クラスの中で、一人ひとり成長が違つるので「性通」「性毛」の時期が違います。それだけに、子どもたちも心配し、教師も、やりにくいという面はあります。

▼女の子。身体が大きくなつてきてブラジャーをつけさせたいが皆がしてないので恥ずかしがつつけないのです。自然につけたらよいのですが……

▼六年の性教育で「相手を好きになる」というところがあります。そこでの反応は、男の子は、自分自身のことと考えられない。また、女の子は、意識してしまつて話したがるなというところでした。男女の成長の差の大きさを感ずります。



▼子供が聞いてこないのに、性教育をしていく必要があるのでしょうか。オクテナのか、わりに無関心なようです。

▼質問してきたら、きちんと答えなければいけないけれど、ふだんの会話の中で、少しずつ知識として教えていってもよいと思ひます。

▼「性」の話ができる親子は、「いい関係」をもっていると考えられています。

- あなたの性教育は(一面より)
- 1、開封したことがない。
  - 2、体罰をせずに、時間をかけて言つてきかすようにする。
  - 3、子供の言い分を十分聞いて次にできるように励ます。
  - 4、自分の考えを持たせるように心がける。
  - 5、子どもが興味をもつたことに対して、十分聞いてあげる必要があるの、叱つてはいけない。
  - 6、校則に違反したときは、話し合うチャンス。子どもがなせ違反するが聞いてあげたい。
  - 7、言わない方がよい。
  - 8、親の判断は示してよいが、基本的には、本人に考えさせるようにしたい。
  - 9、問題とは思わない。個性だと思つて。

# 専門部活動

## 教養部

筒井登貴子

今年の教養部の活動をお知らせします。まず、一学期の陶芸教室ですが、①学校の窯を活用する事、②形作り・手直し・絵付けと色々体験してもらう事を目的とし三回に分けて行いました。準備の段階から、環境整備部の市川部長にずっと指導して頂き、作品展まで開く事が出来ました。九月二十七日には、「親と教師の語る会」のお手伝いをいたしました。尚、例年十一月に行われていました日曜参観は、来年一月十九日に変更になりました。後日改めてご案内いたしますが、同日大阪教育大学の秋葉先生をお招きして講演会を予定していますので、皆様是非ご参加下さい。



## 保健体育部

村岡 耕平

昨年度より好評だったインディアカ大会を、本年度も実施するという活動から、保健部はスタートしました。昨年同様に、学級対抗とし、たくさんの方々に参加していただき、想像以上の盛況に部員一同、大変喜んでおります。

七月下旬より、多数の会員の皆様の要望がありまして、学校施設を開放させていただき、夜間体育館を利用して、インディアカを行っております。多数の方々の参加をお待ちしております。奮ってご参加下さい。

なお、土曜日の夜七時から、変更しました。よろしくお願いたします。

## 学年部

細見 匠子

ここ数年の流れに沿って活動の継承と見直しを計っています。六月の学級懇談会は学級活動の推進の要として、学級委員のリーダーの下に例年の如く行いました。



運動会では、学校側の協力を得て、PTA親睦リレーを行いました。これは従来の学年行事の見直しの一環として学級委員会が出た意見をもとに、楽しく皆さんに走って頂くという学年部で企画したものです。率先して走って下さった方、頼まれ断り切れずに走って下さった方とさまざま様ですが、応援の方々と一体となつて楽しいひとときが過ごせたと思っております。有難うございました。

## 環境整備部

市川 慎作

早朝から小雨が降りつづく不安な八月二十五日のPTA奉仕作業日となりました。しかし、先生方を含め二百五十名をこえる方々のご参加に感謝感激し、雨もあがり、ホッとしました。

皆様の力の和で、全校庭の草抜き、フエンス周囲の溝掃除等、みるみる内に作業を終える事ができました。又、今年始めて行った遊具のペンキ塗りには、汚れるのも、高い所もとわず行つて下さいました方々に感謝致します。

今後、部として、花壇整備のお手伝い、樹木への施肥等を予定しています。

皆様方の御協力、御指導の程、よろしくお願致します。



## 安全部

大杉 泰子

本年度の安全部は、  
●部会 二回  
●危険箇所の点検

●交通安全キャンペーン等を、この半年あまりの間に行つてきました。それ以外に、市からの依頼により、「交通安全市田の会」

に出席することが時々あります。本年度も、羽津北児童における交通事故が、一件、起きております。今の子供達には、車の恐さがあまり感じられていない様にも思われます。もう一度親子で、交通安全について話し合つていただけ

たら、と思います。

学級委員会活動は、二年目を迎え、本来の活動ができるようになってまいりました。これも、学級委員さん、各会員の皆様のご協力があった事の感謝致しております。学級委員会活動は、子供達が楽しく学校生活が過ごせる事を願い又、皆様の意見交換の場となるように、活動してまいります。

## 学級委員会

副会長 不破 幸子

今後共、よろしくご協力、ご参加の程、お願い申し上げます。

今後共、よろしくご協力、ご参加の程、お願い申し上げます。

今後共、よろしくご協力、ご参加の程、お願い申し上げます。



# 運動会の思い出 — 作文紹介 —

## はじめてのうんどうかい

一年 おへろ ひさえ

わたしはうんどうかいで、ふしぎなまんととおおだまころがしをしました。ふしぎなまんとは、おあさんが、じょうずだったよっていいました。おおだまころがしはあかぐみがかったので、おあさんはおおだまころがしもおへろさんでいました。五〇めえとるそうは、6いになつてしまいました。でもおあさんはがんばったからほめてくれました。かえりにふあみりいまあとでじゅうすをかいました。とてもおもしろかったです。



## おもしろかった玉入れ

三年 しろ田 千里

わたしは、玉入れのならば時、三年生がせんとうだから、早くならびました。こうしんした時に、ドキドキして、となりの子と「なに組かつかな。」

と言っていました。そして、大きな田になつて、笛のあいずで止まつて、先生が「よいスタート。」と言つてははじめました。わたしはまだ、

「どの組がかつかな。」と思つていたら、あわつて、数を数える時に赤組のかごをもっている子どもが、玉をごぼしました。赤組の一年生の子が、ひろつてあげるのかなあと思つていたら、多く入れるから、青組のみんなが、「ずるい、ずるいもどしな。」

と言つたら、よけいに、入れたから、みんながほつといていたら一年生も入れていたから、青組のみんなが、また、

「もどしなよ。」とか「ずるい。」とか言いました。そのうちにずかになつて、数を数える時がきて、わたしは、どうしてもドキドキして、数えようちにどんどんドキドキしました。

わたしはやつぱり「赤組いっばい入れたから、赤組がかつにきまつているよ。」と心の中でドキドキしながらうんどう



## 羽津北タワーと拍手

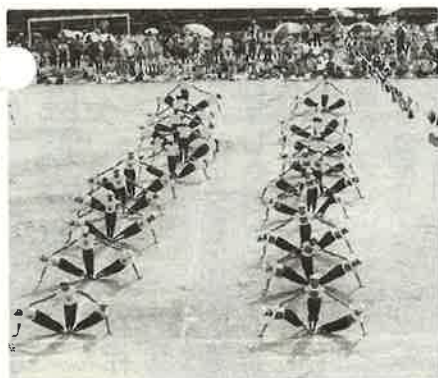
六年 長野 摩澄

個人や何人かでする組み立ての演技が終わつて、一番最後の「羽津北タワー」の番が来た。入場門からかけ出すときの緊張感がこのとき、どんどんよみがえつてきた。

男子はタワーをつくつて、私たちは、「花」という演技だった。花びらを開くとき、タワーはどうなっているか分からなかった。タワーをしてくれる人や、周りで橋をしてくれる人たちは、自分の演技とタワーの完成と先生の笛の音を待っている。

「ピー。」と笛が鳴ったとき、「ワー」という声と、すごい人の拍手が聞こえた。「タワーは、きれいに完成したんだ。」

みんなががんばつて作つたタワー。運動会は赤組が負けだけど、一生けん命やつたから、すごくいい運動会になつたと思う。



## 創立10周年にむけて

教頭 花房 哲也

本校が羽津小学校より昭和五十七年四月一日、分離し、四日市市立羽津北小学校として開校以来、丁度、来年平成四年六月五日(創立記念日)で、満十年になります。

これは、人間にたとえるなら、小学校四年生に達したわけです。本校も諸施設・環境等、充実整備の一途を

たどり、児童数減少化のなかで、十七学級五百十余名の、市内でも中以上の大きな学校へと飛躍しました。今昔の感があります。

そこで、この十周年を期して、平成四年六月四日を中心として、創立十周年の催しを実施しようとして羽津北PTAを中心に計画立案を昨年度より開始しました。

つきましては、創立十周年実行委員会を結成し、地域・学校の結び付きを基に記念の催しを運営することになりました。

なお実行委員会の会長には本校元PTA会長伊藤一之氏にお願いし、組織的には、予算部、記念式典部、記念行事部の四部に分かれ、具体的な実施を練っている状況です。すでに三回ほど実行委員会を開きました。

どうか、この十周年行事へのご賛助をお願いするとともに、益々羽津北小学校の発展、充実に心から祈念する所です。